MFT 結果・観察記録補助票

01 | 実施条件と正式用紙からの結果転記

独自補助票：正式な採点票ではありません。公式資料と併用してください。

ID・氏名：_____ 評価日：_____ 検者：_____

発症日：_____ 評価側：右・左 麻痺側：右・左 利き手：右・左

参照したマニュアル・版／正式記録の保管先：_____

実施条件 | 姿勢・机／椅子・器具・説明方法・休憩

正式用紙で確定した得点のみ転記（この表だけでは採点できません）

課題	得点	観察・実測値・条件の差
FE 前方挙上	/ 4	
LE 側方挙上	/ 4	
PO 後頭部	/ 4	
PD 背部	/ 4	
GR 握る	/ 3	
PI つまむ	/ 3	
CC 立方体	/ 4	5秒の完了個数：　　個
PP ペグボード	/ 6	30秒の完了本数：　　本

全課題の採点が成立した場合：MFT-S _____ / 32　MFS _____ / 100

MFS ＝ MFT-S × 3.125（単位を区別して記載）

未実施・評価困難・中断 | 課題名と理由を文章で記録

未実施を自動的に0点へ置換せず、独自の補完・換算を行わない。

MFT 結果・観察記録補助票

02｜生活場面への解釈と支援計画

独自補助票：正式な採点票ではありません。公式資料と併用してください。

ID・氏名：_____ 評価日：_____ 検者：_____

本人が取り戻したい動作｜場面・道具・困りごと

生活での実際の使用｜できる条件・介助・頻度・本人と家族の認識

結果の解釈｜課題間の違い・疼痛・感覚・理解・疲労など

支援計画と再評価｜具体的な目標・練習内容・次回日・そろえる条件

記録上の注意

検査室での能力と生活での使用は別に確認。合計点だけで自立を判断しない。

本票の生活・支援欄はSTROKE LABの独自項目で、MFTの採点には含めない。

参照：中村隆一・森山早苗 編（2000）リハビリテーションマニュアル8。
国立身体障害者リハビリテーションセンター「脳卒中患者の上肢機能検査（MFT）と機能的作業療法」本文p.2–6。公式資料は下記URLから参照。
公式資料一覧：https://extweb01.rehab.go.jp/whoclbc/rehamanual/